

J R 東海 労申第 2 号
2 0 2 1 年 7 月 6 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海 労働組合
中央執行委員長 木下 和樹

三菱電機の検査不正問題に伴う車両の安全に関する申し入れ

マスコミによると「三菱電機による鉄道車両の空調機器における検査不正を 3 5 年以上にわたった疑いがあることが判明した。また、電動空気圧縮機についても同様の不正検査が行われていた」と報道された。

その中で、会社は 6 月 3 0 日、「三菱電機製の空調機器を新幹線車両と在来線車両に、導入している」ことを明らかにした。

J R 東海 労は、検査不正された空調機器や電動空気圧縮機が車両に搭載されていることで、車両の安全に重大な問題が起きたと考える。国土交通省からも「早急に入念に点検するよう鉄道会社に要請している」と発表した。

何より乗務員と乗客は、マスコミ発表によって大きな不安感を抱いている。早急に安全を確保することを第一に考え、万全な安全対策を講じるために、下記の通り申し入れるので、速やかに団体交渉を行うこと。

記

1. 三菱電機の検査不正の発覚を受けて、会社の見解を明らかにすること。
2. 三菱電機製の検査不正された空調機器が、今現在、新幹線車両と在来線車両ごとに何台搭載されているか明らかにすること。
3. 三菱電機製の検査不正された電動空気圧縮機が今現在、新幹線車両と在来線車両ごとに何台搭載されているか明らかにすること。
4. 鉄道車両機器の検査不正について、三菱電機から説明された内容を明らかにすること。
5. 報道では三菱電機は「検査不正は認めつつ、しかし、安全性に問題はない」とされているが、安全を第一にしている会社としての対策を明らかにすること。
6. 乗務員、乗客が安心して乗務、乗車できるよう、検査不正された車両機器は全て

交換すること。

以 上